

# 母子福祉手当を支給

## 建設事業に10億1,800万円



### 決った予算

#### 三和支所を 改築移転

■一般会計予算  
主な施策をみますと、  
《総務》三和支所の移転改築のため三百六十万円、利水関係の調査委託五十万円、し尿処理場建設をすすめる高知中央地区衛生組合の負担金二百二十三万円、市民参加の市政モニター十五万円、交通安全施設五百三十万円、市庁舎建設の繰り延べ支払分四千八百八十五万円。  
《民生》母子家庭の福祉手当を新設。これまでの交通児童だけでな

く、すべての母子家庭に手当を支給するもので、一人当り年間二万二千円(月額千円)、この経費が二百五十六万円、出生児の祝金千円を千五百円に引き上げるため百五十五万円、少年補導センターに専門の指導員を置くため七十二万円、同和地区の出産助成金二万円を三万円に引き上げ、この経費が百五十七万円などが新設、または引き上げられました。  
このほか、地方改善事業四億四千三百二十六万円、老人福祉のため二億七千五百二十六万円、生活保護七億九千九百九十五万円。

#### 市民十円負担

《衛生》ゴミ袋は無料化を続けるため二千四百二十万円が予算計上されていますが、修正議決がされて一千三百三十万円を減額。このため、ゴミ袋一枚につき十円が市民の負担になったものです。  
ゴミ袋の無料化は、杉本市長の公約第一号として昨年四月から実施してまいりました。この間、婦人会の市政会議、市民と市長の対話集会、市議会の一般質問など、一年間市民のなかで論議され、昨年十

二月の、市長への手紙」でもアンケート調査、「無料はよいことだ」「三百一通(四六・五割)」「無料の必要ない」百九十六通(三〇・二割)、「一部負担」七十一通(一一・〇割)、「どちらでもよい」四十一通(六・三割)、「その他」三十九通(六・〇割)の結果がでていました。  
これら数多くの市民の声を聞いて、市は「いろんな改善点や問題はあっても、まだ始めたばかりで市民のなかに十分定着していかないところもあり、ゴミ袋の無料化は継続、五十年度は市民ぐるみの衛生思想、きれいな町づくりに全力投球する。そのなかで市民とひざをつき合わせて話し合い改善するところは改善したい。(広報なんこく三月一日号)として市議会に提案していたもの。

「ゴミ袋ではない。」と反対討論があったあと、採決に入り予算修正(ゴミ袋の十円市民負担)を賛成多数で決めました。  
なお、生活保護家庭には、今まで通り無料で配付されます。  
減額した一千三百三十万円は教育費のうち小学校の諸工事に一千万円、中学校の諸工事に二千万円、地区公民館の報償費二百万円に充当されることになりました。  
衛生関係では、このほかゴミ焼却場の負担金千五百万円、し尿処理の委託や施設の維持に四百二十万円、河川監視員十八万円、ハエの駆除の薬品など二百三十万円。

#### 久礼田小に スクールバス

《労働》失業対策事業一億五千六十二万円。  
《農業》農業動向の調査委託九十二万円、休耕田の復元対策五十万円を新設。農業振興に二千六百六十八万円、農道浦原車ヶ峠線の改良工事四百四十万円、稲生の承水溝改良工事四千四百円、広域農道の負担九百九十九万円など農業用施設の整備七千三百九十九万円、市有林の整備二百七十六万円。  
《商工業》漁業振興のための補助百四十万円、商工会館の改修助成百五十万円を新設、商工会への補助百五

十万円。  
《土木》都市計画・道路整備・河川整備・急傾斜防災対策の県営事業負担六千五百四十九万円、奈路中谷線改良工事二千二百五十万円、前浜岩線改良工事二千二百五十万円、国道小連線改良工事三千三万円、王子中央線改良工事六千六万円、広域市町村圏道路整備六千六万円、都市圏辺水路整備五百五十万円、崖くずれ防災対策工事三千七百五十万円。  
《消防》サイレン制御システム三百五十万円、防火水槽(三基)三百五十万円、可搬動力ポンプ(三百)百五十万円。

《教育》久礼田スクールバス四百四十万円、日章小学校舎改築一億七千五百四十四万円、水泳プール監視人百三十三万円、瓶岩運動場拡張工事八十八万円、第四集会所建設三千二百六十六万円、学校の諸工事は、増額修正して小学校一千六百二十万円、中学校四百二十万円。

#### 半分に給水

■水道事業特別会計  
予算総額三億四千四百四十万円、前年度に比べて三百九十八万円の増約一・六割の伸びになっています。そして、給水戸数を九百戸増やして六千二百戸にする予定で、これができると市内の全世帯数の

四七・五割に普及することになります。  
主な事業は、大塚上水道の第二期拡張事業四千三百四十万円、南部広域事業の第四年度計画一億二千六百万円、久礼田改良工事七百万円、野中整備事業千五百七十万円、前浜給水工事千六百七十万円、稲生改良工事七百万円、その他の増設工事六百五十万円、合計で二億三千百二十万円の建設事業が計画されています。

### 決った条例など

#### 出生児祝金千五百円に 厚生資金の貸付十万円

■指導員などの報酬引上げ  
社会教育指導員月額四万二千円、家庭相談員月額三万九千三百円であったものをそれぞれ五万四千円と五万五千元に引き上げました。  
■更生資金貸付基金額二百万円  
高騰する物価などから基金額をこれまでの倍の二百万円とし、一世帯当り五万円の貸出限度を十万円にして貸付け期間を延長しました。  
■国保税七割値上げ  
昨年は、医療費の三五割増、三

万円以上の高額医療費を市で負担するようにしたこと、助産費、葬祭費を倍額の二万円、一万円にしたことなどから国保税を八割値上げしました。  
今年は一割の医療費増が予想されることから国保税を七割引上げました。七割アップの内容は均等割四千円を四千五百円に、世帯割五千円を六千円に引き上げるもの。(ただし、均等割、世帯割については、すべてその金額になるのではなく、実際には減額の額

が引き上げられるのでと安くなります。)

#### 児童館

##### 三カ所に

■市立児童館の設置管理  
西部児童館(野中)とわかき児童館(東崎)が完成四月一日から活動を開始しています。これら市の児童館は南児童館とあわせて三つになりました。

#### 出生児祝金千五百円に

出生児祝金は生れてきた赤ちゃんの前途を祝福するため定められました。苦しい財政ですが千円という額では余りに少なく、五百円アップしました。対象者は六百人ぐらいの見込みです。受給の方法は、出生届をすませた人は、印鑑をもって給付係においてください。

#### 水道の給水計画

上水道・給水計画人口を七千人から一万五千人にし、給水区域を大塚、篠原、後免町、上野田、下野田、東崎(西部)、明見、岩村、里改田、片山に拡げるとともに、給水区域内の配水管網の充実をはかり、昭和五十三年度までに施設整備をします。

簡易水道・野中地区はすでに認可をうけて給水区域を野中、東崎(東部)、下末松、甘枝(上甘枝)から三萬、陣山、西山、上末松に

#### 浜田一雄氏 監査委員に

■消防団員の表彰  
十年以上在職し退職するときにその功績をたたえ、表彰します。  
■市監査委員に浜田一雄氏  
議員選出の南国市監査委員猪野茂行氏は三月十一日、辞任したので後任に浜田一雄氏を選任。  
■母子福祉手当の支給  
市独自に交通児童手当を支給していましたが、その他の死別、生別など、すべての母子家庭に月額千円、年額一万二千円の母子福祉手当を支給することになったものです。

●みんながおとしよりと、子供を大切にすする南国市にしましょう

# 企画課の設置も流産



課の設置条例の一部改正は、企画財政課と管理課を企画課と総務課に、建設課を建設課と建築都計課に分離するものだったが、修正可決され、企画課と総務課は流産、建設都計課は執行部の原案通りに決まりました。

提案理由の説明にたった杉本市長は、「自治省でも住民生活優先の行政、住民サイドに立った行政を進めるために企画部門の充実、窓口行政の拡大、広報広聴体制の強化、政策立案レベルへの住民参加を求めるよう行政指導を行う方針を示している。これからの行政は広報広聴体制を整備し、行政の実態を知らし、市民の要求を聴き、消化し、実現していく科学的・計画的な行政運営が必要だ。そこでプロジェクトチームを編成、課内

会、係長会、課長会などで研究会、広報広聴体制、住民参加・職員参加の行政をすすめる企画部門の整備、地方財政危機の折から財政部門の充実、用地補償を解決する専門的な組織、組織単位能力、都市計画などからの建設課の分離が提起された。そこで、企画財政課と管理課を企画課と総務課に改め、企画課には秘書・企画調整・広報広聴・職員各係、総務課には庶務文書・財政・管財・用地補償の各係を置く。建設課を建設課(労働・土木第一・土木第二の三係)

と建築都計課(建築・都市計画の二係)に分離することにした」と述べ、市議会の総務常任委員会と建設常任委員会の折から財政部門の整備、地方財政危機の折から財政部門の充実、用地補償を解決する専門的な組織、組織単位能力、都市計画などからの建設課の分離が提起された。そこで、企画財政課と管理課を企画課と総務課に改め、企画課には秘書・企画調整・広報広聴・職員各係、総務課には庶務文書・財政・管財・用地補償の各係を置く。建設課を建設課(労働・土木第一・土木第二の三係)

る。」と条例案の一部修正を報告。質疑・討論に入り、「今回の機構改革はプロジェクトチーム、課長会などで一年間調査研究したもので、人員増を伴わず行政水準を高めようとするものだ。企画課の独立は市民参加の市政の実現、市民の生命とくらしを守るための計画的・科学的な企画立案をしていくうえで当然必要だ。議案の修正は正当な理由がない」と反対討論のあと、採決に入り、賛成多数で常任委員会の報告通り修正可決されました。

## 市職員の人事移動 補佐監に田岡信雄氏

### 村山忠夫氏ら九人が退職

市は四月一日付で、総数八十人の人事異動を発表しました。補佐監に田岡信雄公害環境課長、新設の建築都計課長に岩崎嗣和対策課長が起用されました。

また退職者が九人、新採用は消防七人、保母五人、栄養士二人、大塚女子院講師一人の計十四人、行政一般職員の補充は、財政ひっぱりの折からありませんでした。

市は四月一日付で、総数八十人の人事異動を発表しました。補佐監に田岡信雄公害環境課長、新設の建築都計課長に岩崎嗣和対策課長が起用されました。

また退職者が九人、新採用は消防七人、保母五人、栄養士二人、大塚女子院講師一人の計十四人、行政一般職員の補充は、財政ひっぱりの折からありませんでした。

岩白竜管理課長(農業委員会事務局局長)坂本延男(税務課長(企画財政課長)島内日出見(公害環境課長(教育委員会社会教育課長)太郎田勝(同対策課長(公害環境課長(建設課長)同林司(福祉事務所長(会計課長)山本登士夫(会計課長(農林園芸課長補佐)福重高雄(教育委員会社会教育課長(福祉事務所長)二宮博男(農業委員会事務局局長(管理課長)浜田信喜(選挙管理委員会事務局局長(同次長)沢田幸義(建築都計課長(同和対策課長)岩崎嗣和(企画財政課企画担当主監(同課主監)岡林泰弘(課長補佐・係長・主幹・技師)企画財政課長補佐兼企画調整係長(農林園芸課長補佐)西岡輝盛(同課財政係長(会計課長

計係長)浜田純(税務課長補佐兼賦課第二係長(福祉事務所保護第一係長)岡崎俊一(同課徴収係長(農林園芸課主事)原田治紀(市民課長補佐兼園芸係長(企画財政課財政係長)北岡克彦(同課市民係長(同課主事)垣内英伸(農林園芸課長補佐兼農政企画係長(福祉事務所次長兼保育管理係長)東村達夫(同課農林振興係長(同課主事)竹中守(建設課労政係長(税務課徴収係長)戸田隆彦(同課技師)土地開発公社 岩原宏(福祉事務所次長(市民課主監・課長補佐)西川武夫(同所保育管理係長(市民課市民係長)松岡寛男(同所保護第一係長(農業委員会農地係長)大崎竜三(同才二係長(建設課労政係長)松本幸雄(管理課用地)補償係長(建設課都市計画係

長)五百藤功(会計課会計係長(市民課園芸係長)吉永明(公害環境課保護係長(福祉事務所保護第一係長)門田憲彦(建築都計課長補佐兼企画開発係長)松山家俊(同課建築係長(建設課技師)井上務(同課技師(建設課技師)井上一紀(選挙管理委員会事務局次長(税務課長補佐兼賦課第一係長)浜口正義(教育委員会総務係長)建設課長補佐兼建築係長)松本伸一(農業委員会農地係長(同農業振興係長)岡崎聡一(同農業振興係長(農林園芸課主事)野村道後(南部福祉館長(福祉事務所主事)井上哲(土地開発公社技師(建設課主事)大塚俊介(消防係長(司令警防隊長)植野求(警防係長(司令補警防隊長)岡則重雄(税務課

主幹(福祉事務所主幹)秋山房江(わかさ児童館主幹(公害環境課主幹)西内フサエ

主事・主事補

企画財政課 土居信幸(税務課)野中雄二(中央公民館池知隆(管理課)浜田悦子(公害環境課)管理課 比江森浩二(企画財政課)谷香代(市民課)

税務課 坂本正(社会教育課)鍋島信(市民課)西川公典(管理課)市民課 佃弘子(福祉事務所)山鳩光子(税務課)齋藤信香(農業委員会)山崎操(会計課)井上妙子(商工水産課)

岡野支所 田内経子(市民課)公害環境課 長尾征洋(税務課)坂本千世(福祉事務所)

同和対策課 竹崎公一(福祉事務所)

農林園芸課 入交哲(福祉事務所)門田秀夫(商工水産課)南幸男(同和対策課)

商工水産課 比江森礼子(福祉事務所)

建築都計課 竹村修(管理課)福祉事務所 清岡常道(市民課)森尾晃(税務課)吉川勇和夫(補導センター)和田義許(社会教育課)石井守(市民課)松本志津(管理課)中村さち(同)坂本恵美子(市民課)植野裕子(水道局)

南児童館 徳橋早子(福祉事務所)

水道局 楠瀬良子(福祉事務所)八松健二(建設課)

教育委員会 社会教育課 山崎弘道(同和対策課)神田三夫(企画財政課)少年補導センター 星沢豊穂(福祉事務所)中央公民館 細本猛(同和対策課)

保母・調理師

久礼田保育所 所長 猪野重子(園府)吉川寿美(大塚)

園府保育所 所長 森本敏子(後免)岩原初枝(後免)

後免保育所 所長 宮地敬子(西部)古谷美生(十市)

あけぼの保育所 中村博子(後免)

南部保育所 吉田一美(西部)

西部保育所 松井美代(東部)

西田美紀(岩)星沢一子(明見)

大塚保育所 藤原和枝(園府)

島内信子(岩)松村節子(あけぼの)森本幸子(里)若村信子(前浜)

東部保育所 別役等子(久礼田)

十市保育所 吉野弘子(岡野)

若保保育所 村上直子(南部)

明見保育所 坂田原澄子(大塚)

稲生保育所 土居長子(大塚)

岡上まき子(前浜)

岡野保育所 野村年子(大塚)

西部児童館 谷田陽子(南児)

里保育所 溝淵民(南児)

新採用

消防署 武市光平(左右山)武市豊(東崎)州賀崎勝男(浜改田)武市敏嗣(後免町)藤岡和明(小笠)岡田直人(園府)中山博文(廿枝)

十市保育所 土居あや子(十市)

久礼田保育所 西川恵子(小笠)

園府保育所 田島順子(小笠)

西部保育所 岡崎美江(小笠)

小・中学技能職

香長中学校 豊永善市(南海分校)

三和小学校 武市清(香長中)

日章小学校 野島孝子(三和小)

大塚小学校 西内磨津子(後免)野田小)

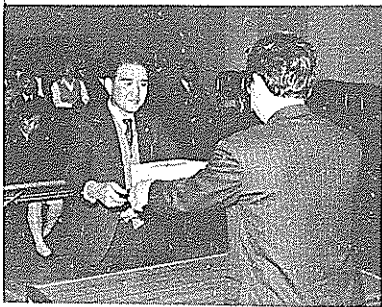
日章小学校 柳川妙子(大塚小)

後免野田小学校 根須節子(日章小)

岡林理佐子(東崎)

福祉事務所 土居幸子(十市)

大塚女子学院 三島ヨシミ(大塚)



ありがとう・ごろうさま

桜の花の咲きそろった四月二日、村山忠夫さんら五名の永年勤続の退職者に感謝状が贈られました。「別れにはいつも悲しみがつきまとう。そして一人残って静かにその人の事を思う……。過日、みなさんから、今こそ私たちが喜んでやめる」と言われて涙の出る思いがした。職員としては別れですが健康に気をつけて頑張ってください」と市長の挨拶があり、退職者を代表して村山さんから、「今

まで例を見ない送別の時を得たことは愛情と民主主義の発露だと思ふ。退職に際して、暖かい環境で祝福されて退職したいと念じていました。そしてそれができたことは、これからの前途に明るい希望があるような気がします。民主市政確立のため一層の活躍を祈ります」と挨拶があり、拍手のなかで贈呈式を終わりました。

まで例を見ない送別の時を得たことは愛情と民主主義の発露だと思ふ。退職に際して、暖かい環境で祝福されて退職したいと念じていました。そしてそれができたことは、これからの前途に明るい希望があるような気がします。民主市政確立のため一層の活躍を祈ります」と挨拶があり、拍手のなかで贈呈式を終わりました。

まで例を見ない送別の時を得たことは愛情と民主主義の発露だと思ふ。退職に際して、暖かい環境で祝福されて退職したいと念じていました。そしてそれができたことは、これからの前途に明るい希望があるような気がします。民主市政確立のため一層の活躍を祈ります」と挨拶があり、拍手のなかで贈呈式を終わりました。